

災害なんかに負けない地域をつくろう！

東区旭丘学区

震災避難行動マップ

この震災避難行動マップは、名古屋市が公表した「南海トラフ巨大地震の被害想定」をもとに、大規模地震が発生した場合を想定して、旭丘学区のみなさんが、お住まいの地域の危険箇所や避難経路などについて話し合い、作成したものです。

この震災避難行動マップをもとに、“いざ”という時どんな行動をとればよいのか日頃から考えておきましょう。

各ご家庭で、どの避難先へどのルートで避難するか、日頃から話し合うなどして決めておきましょう！

指定避難所

- ① 旭丘小学校
- ② 桜丘中学校

指定緊急避難場所

- ① 旭丘小学校
- ② 桜丘中学校
- ③ 徳川園

※災害の種類によって異なります。
詳しくは裏面をご覧ください。

- ② 桜丘中学校
医療救護所

中京法律専門学校
一時的な避難場所の提供

- ① 旭丘小学校
災害救助地区本部

都市公園一覧

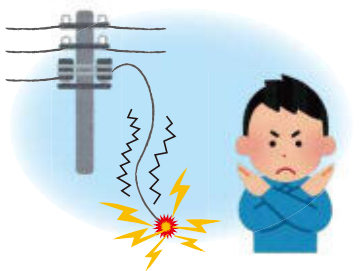
- a 山口南公園
- b 山口公園
- c 大曽根公園
- d 旭丘公園
- e 東大曽根第一公園
- f 徳川園葵緑道
- g 東大曽根第二公園

どんぐりひろば一覧

- ア 坂上町
- イ 東大曽根町
- ウ 東大南
- エ 徳一東

気を付けて！

- 1. 空き家**
耐震性が低いと倒壊しやすく、無人のため火災延焼の危険あり。
- 2. 古いブロック塀**
大きな地震では倒壊する危険があるため近づかない。
- 3. 狭い道**
近くの家が倒壊した時、道がふさがれて通りにくくなる可能性あり。
- 4. 電線**
切れた電線は停電時でも感電の危険があるので、絶対に近づかない。



ホーユー株式会社
AED・避難所等の提供

【地域の避難先例】

- 【延焼拡大した火災から避難する場合】
⇒指定緊急避難場所へ
 - 【家屋の倒壊等又はそういった恐れのある場合】
⇒指定避難所へ
 - 【液状化等で道路が冠水している場合】
⇒無理に通行しようとせず、冠水していない道路を迂回しましょう。
- (お願い)
自宅の被害が少ない場合は、なるべく自宅で生活しましょう。
- 高齢者や障がいのある方など、自力で避難が難しい方は、地域で協力して避難先へ誘導しましょう。
- 車の使用はできるだけ避け、徒歩で避難しましょう。
- お住まいの地域や災害時の状況によっては、他学区・他区の避難所に避難することもできます。

株式会社 真城
キャッスルタウン大曽根
立体駐車場、トイレ
及び浴場の提供

道路閉塞の危険性について

南海トラフ巨大地震における被害想定(あらゆる可能性を考慮した最大クラス)をもとに、建物の倒壊によって道路がふさがって通れなくなる可能性を評価したもの。

※液状化を考慮して計算された建物の全壊率から、沿道の各建物高さや道路の幅員(歩いて避難する場合には、最低2mの道路幅が必要と認定)を考慮して、道路が閉塞する確率を算出。

40~70%のエリア
70%以上のエリア

出典:震災に強いまちづくり方針

問合せ先:住宅都市局都市計画課 ☎ 052-972-2712

役に立つもの

- 1. コンビニエンスストアなど**
このステッカーの貼ってある店舗は、「災害時帰宅支援ステーション」として、公共交通機関が不通となったとき、徒歩で帰宅しようとする人たちを支援する店舗です。トイレや避難スペースの提供など災害時に可能な範囲で支援協力が得られます。
- 2. 地域防災協力事業所**
災害時に地域に対して支援協力してくれる事業所です。
- 3. 公衆電話**
NTTが設置する公衆電話は、災害時には優先的につながり、状況に応じて無料になります。ただし、国際電話は使えません。

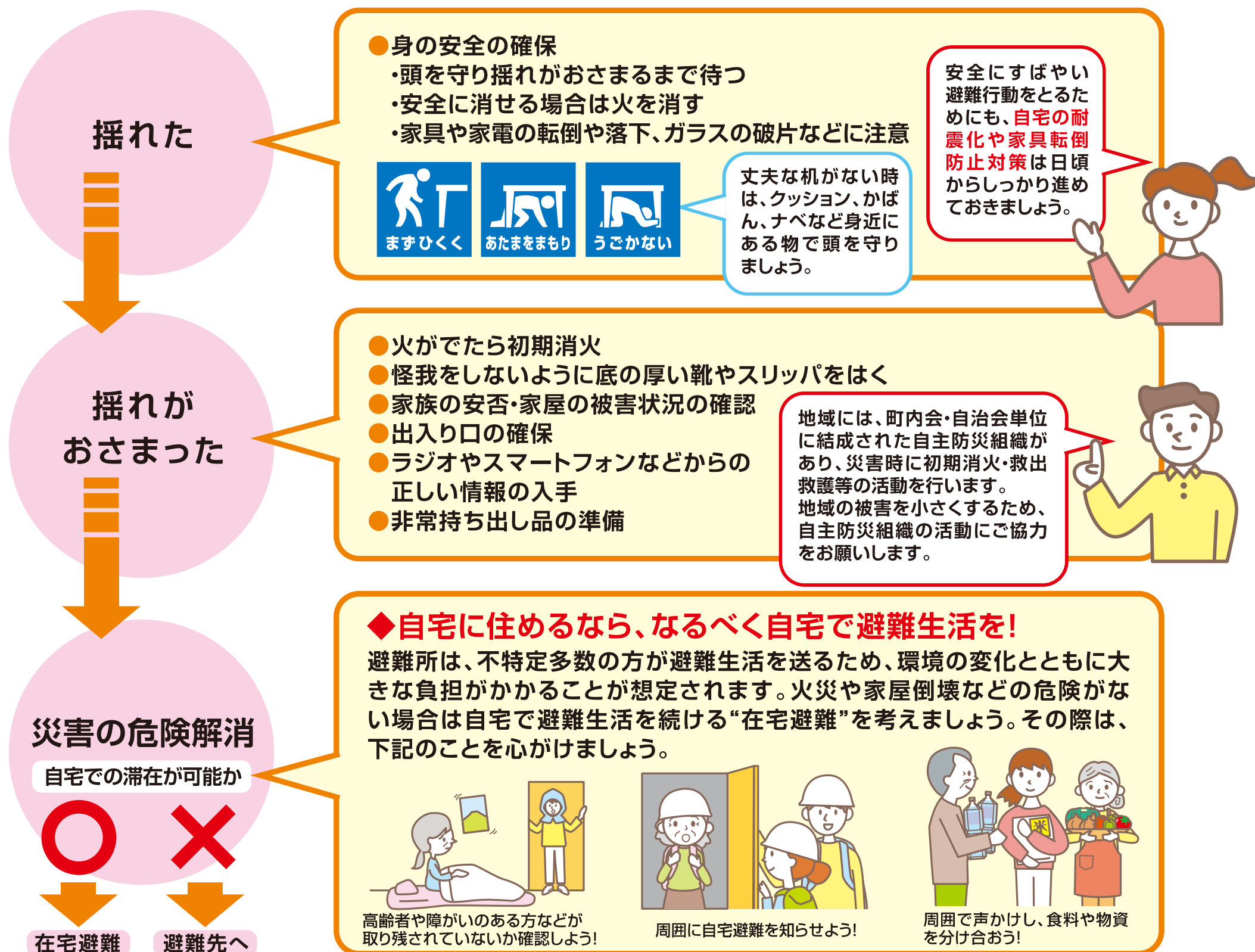
凡例

指定避難所	WC 下水道直結式仮設トイレ (マンホールトイレ)	AED (自動体外式除細動器)	公衆電話
地域防災協力事業所	災害応急協力井戸(一般)	応急給水施設	地下式給水栓
指定緊急避難場所	都市公園、どんぐりひろば	学区境	

東区旭丘学区 災害時の特性と対策

南海トラフ巨大地震が発生した場合、名古屋市の中でも比較的強い**震度6強ないし6弱**の揺れが想定されます。まずは身を守りましょう。このときに怪我をしないよう、日頃から家具の転倒防止などの耐震対策に努めましょう。**揺れがおさまった後、自宅が被害を受けたかまたは受けるおそれがある場合は適切な避難を行いましょう。**また、**液状化現象**が起きる可能性が高い箇所がいくつかあります。建物が傾いたり、路上に泥水が溢れ出し、通ることができなくなる可能性があります。さらに家屋やブロック塀の倒壊なども踏まえ、適切な避難先と、そこまで安全にたどり着くための経路をあらかじめ考えておきましょう。

地震発生！災害時の対応



◆避難先へ安全に避難するための6つのポイント



一人では逃げられない方への対応

過去の災害では、周囲からの「声かけ」と「避難の手伝い」が、下記のような高齢者や障がいのある方などの避難行動を早めました。日頃から一人で逃げられない方を把握し、地域みんなで、いち早く避難行動が取れるよう**協力**しましょう。

情報の入手や判断が難しい方

例えばこんな方

目が見えない方、耳の聞こえない方、認知症の方、知的障がいのある方、日本語が苦手な外国人、ひとり暮らしの高齢者や高齢者のみの世帯など。

対応方法



移動が難しい方

例えばこんな方

普段、杖・押し車・車椅子などを使っている人、寝たきりの人、けが人、病人、妊婦さんなど。

対応方法



避難の時の豆知識

避難する時に持って行くもの 非常持ち出し袋を準備しましょう！

防災用品

- 携帯ラジオ
- ヘルメット・防災ずきん
- 軍手
- マスク

貴重品

- 現金（小銭も必要）
- 預（貯）金通帳の写し
- 健康保険証・免許証の写し
- カード類
- 認印・印鑑など

照明等

- 懐中電灯（電池含む）
- マッチ・ライター

医療用品

- 三角きん
- 包帯・ガーゼ
- ばんそうこう
- 消毒薬
- ウェットティッシュ（ティッシュ）
- お薬手帳の写し

食器類

- はし・スプーン
- 紙皿・紙コップ

便利用品

- 筆記用具
- 新聞紙
- 携帯用トイレ
- ゴミ袋
- キッチン用ラップ
- 使い捨てカイロ
- 雨具
- 手動携帯電話充電器

食料等

- 飲料水
- 食料（非常食・携帯食）

衣料品

- 衣類（着替え）
- タオル（大小2種類）



●地図面凡例説明

指定避難所 家屋の倒壊などにより住居に被害を受けた方、あるいは被害を受けるおそれのある方を一時的に受け入れ、滞在させるための施設	応急給水施設 大地震発生時に、広域避難場所などにおいて飲料水を提供すると共に給水車の補給基地となる施設	地下式給水栓 地震時に避難者自らが操作し、飲料水を確保するための非常用の蛇口を備えた設備
災害応急協力井戸（一般）	災害応急用井戸（事業所） 大地震発生時の生活用水確保を目的とし、市民、事業所などが持つ井戸のうち、災害時に地域住民に提供いただける井戸	
指定緊急避難場所 命を守るため、災害の危険からまずは逃げるための場所（災害の種類ごとに異なる）	■地震のとき→旭丘小・桜丘中（市立小・中学校）のグラウンド、徳川園（広域避難場所） ■大規模な火事のとき→徳川園（広域避難場所） ■洪水・内水はん濫のとき→旭丘小・桜丘中の屋内（指定避難所）	